

2008年4月1日

財団法人 電気通信端末機器審査協会

JATEにおけるIPv6 Ready Logo 認証業務の開始について

財団法人 電気通信端末機器審査協会(JATE:須田和博理事長、東京都港区)は、IPv6 Forum が運用する IPv6 Ready Logo Program に関して、これまで IPv6 普及・高度化推進協議会サードパーティフィケーション WG (主査:江崎浩 東京大学大学院教授、協議会専務理事)及び TAHI プロジェクト(代表:宮田宏(横河電機))が行っていた認証業務を引き継ぐための検討を昨年11月から行って参りましたが、本日(2008年4月1日)より日本 IPv6 認証センターを開設し、審査業務を開始いたしました。これに伴い、これまで英文でしか提供されていなかったホームページを日本語版で提供すると共に、日本語での問い合わせ対応も開始しました。

現在のインターネットで使用されている IPv4 アドレスが数年以内に枯渇されると言われている問題の抜本的解決策として IPv6 への円滑なる移行が求められており、日本国内における IPv6 の審査及び支援機能の強化に貢献して参る所存です。

なお、IPv6 Ready Logo の詳細については、下記 URL をご覧下さい。

連絡先:財団法人 電気通信端末機器審査協会(JATE)

吉田専務理事、寺田主幹

TEL : 03-5786-4300

FAX : 03-5786-4311

e-mail : info-ipv6@jate.or.jp

URL : <http://www.jate.or.jp/jp/ipv6/index.html>

* 写真のデータファイルが必要な場合は、info-ipv6@jate.or.jpへメールするか、次へ電話ください。

TEL:03-5786-4300 (永田、宮内、寺田)

【参考 1】

IPv6

新しいインターネットアドレスを含むプロトコルで、現在主流の IPv4 アドレスは 2010 年頃には枯渇すると言われていることから、我が国では総務省が中心になって、普及推進を図っています。

IPv6 普及・高度化推進協議会 (v6PC)

慶應義塾大学村井純教授を会長に、郵政省(当時、現総務省)をオブザーバに迎え、IPv6 による次世代インターネットの普及推進を目的として、2000 年 10 月に設立されました。TAHI プロジェクトと連携してサートファイケーション WG を運営し、IPv6 Ready Logo Program の核となるテスト仕様、テストツール等を開発しています。

TAHI プロジェクト

1998 年に活動を開始し、IPv6 の実装機器を品質面でサポートするための検査ツールを開発して無償公開しているほか、相互接続テストイベントを毎年開催しています。IPv6 普及・高度化推進協議会サートファイケーション WG と連携して、IPv6 Ready Logo Program の核となるテスト仕様、テストツール等を開発するとともに、主にアジア地域を担当する審査機関になっています。

IPv6 Ready Logo Program

「IPv6 対応機器がお互いに IPv6 で通信ができる」ことの国際的な機能認証スキームです。IPv6 の普及を目指す国際 NPO「IPv6 Forum」(ルクセンブルグ; President: Latif Ladid) 配下の IPv6 Ready Logo Committee (議長: 江崎浩東京大学大学院教授) により運営され、同 Committee を構成する、日本、米国、欧州、中国、韓国、台湾等の各協力組織により活動が推進されています。

なお、IPv6 対応機器としては、ルータをはじめとした通信機器や、パソコン・IP 電話機等の通信端末等があります。

財団法人 電気通信端末機器審査協会 (JATE)

電気通信回線に接続する端末機器の技術基準への適合認定業務を公正・迅速に行う第三者機関として、昭和 59 年に郵政大臣(当時、現総務省)により設立されました。現在は、電気通信事業法に基づく登録認定機関として各種の端末機器の適合認定業務を実施しています。今回、IPv6 Ready Logo Committee において検査仕様策定を行う組織として IPv6 Ready Logo Program Office も開設いたしました。

以上

【参考2】

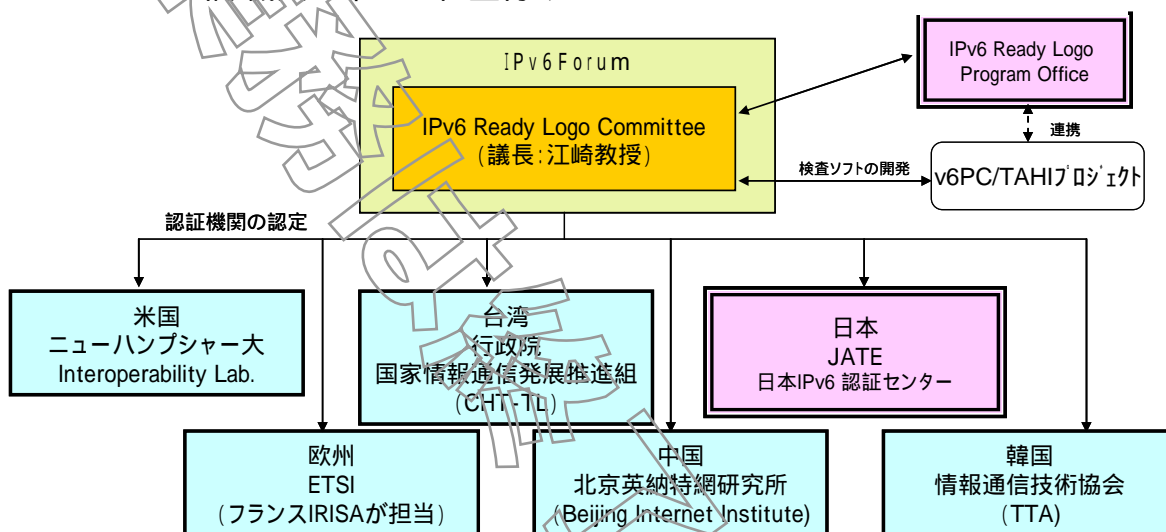
□ゴマークについて

IPv6 Ready Logo の種類は IPv6 の基本的な相互接続性を検証する Phase-1 と、実運用を想定して Phase-1 の機能範囲を拡張した Phase-2 があります。現在は IPv6 Forum によって Phase-2 の取得が推奨されています。



Phase-1 Phase-2

JATE の国際機関の中での位置付け



開所式 (2008.4.1 テープカット模様)



右から、総務省 武内電気通信事業部長、IPv6 Ready Logo committee 議長 江崎東大教授、JATE 須田理事長